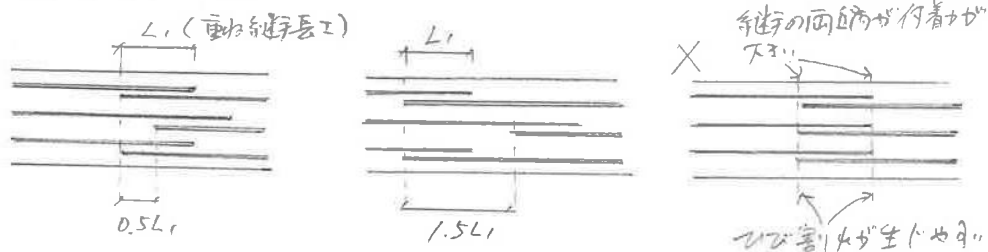


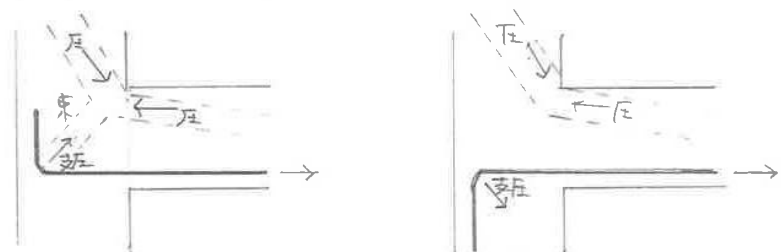
平成26年NO.14 鉄筋コンクリート構造の配筋

1. 重ね継ぎの位置 → 隣接鉄筋の重ね継ぎは原則として $0.5L$ または $1.5L$ 以上とする
2. 柱梁接合部の定着 → 下梁の下鉄筋は曲げ上げて柱梁接合部内に定着する
3. 下梁のあばら筋のキャップタイ → フラップと同時にコンクリートを打ち込むT形・L形の梁のキャップタイの先端部は 90° とする
4. 最上階の柱梁接合部の定着長さ → 最上階の梁上端筋は鉄筋の余長部で直線定着長さを確保する

1. 重ね継ぎの位置



2. 柱梁接合部の定着

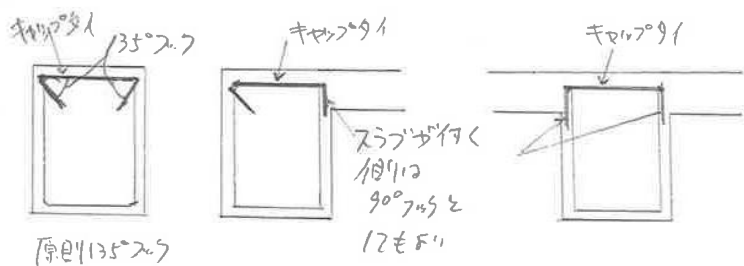


・主筋折曲げ部内側に支圧力が生じる

梁主筋を接合部内に折曲げると折曲げ内側から梁圧縮域内に圧縮力の束が形成されて釣合

梁主筋を柱に曲げ下げると折曲げ内側に生じる圧縮力と梁圧縮域内への力の伝達が困難

3. 下梁のあばら筋のキャップタイ



4. 最上階の柱梁接合部の定着長さ

